



TOKYO ROPPONGI ROTARY CLUB

東京六本木ロータリー・クラブ



WEEKLY REPORT

風に向かって、風とともに

東京六本木ロータリー・クラブ会長

2012年12月3日発行 第338号

2012-2013年度 No. 18



本日のプログラム

平成24年12月3日

卓話 『安全は誰が守るもの?』

評論家／公益財団法人大宅壮一文庫 理事長

大宅 映子 様

プロフィール

1941年、東京生まれ。1963年国際基督教大学卒業後、PR会社勤務を経て、69年に(株)日本インフォメーション・システムズ(NIS)を設立。代表取締役社長をつとめる(現在は大宅映子事務所に吸収合併)。NISでの企業や団体の文化イベントの企画プロデュースのかたわら、1978年から始めたマスコミ活動では国際問題・国内政治経済から食文化・子育てまで守備範囲広く活躍し、大所高所からの視野と同時に個人の立場で発言する切れ味

の良いコメントが好評である。これまで多くの審議会の委員をつとめてきたが、その範囲は広く、日本の構造改革に關ってきている。2002年6月からつとめた「道路関係四公団民営化推進委員会」では最後まで監視の役を全う。2007年7月、「年金業務・社会保険庁監視等委員会」委員長代理に就任。民間企業では、(株)高島屋社外取締役をはじめ数社のアドバイザリーボードメンバーもつとめている。

クラブからのお知らせ [11月26日]

● 松島会長挨拶

日本の素晴らしさは、四季折々の彩りと装いにあります。しかし、最近、ベスト・シーズンの春と秋、桜と紅葉を愛する時間が短くなり、反面、夏と冬の期間が長くなっているような気がします。これも地球温暖化の現象でしょうか。温暖化というと優しい感じがしますが、実態は凶暴なハリケーン、竜巻、地震や津波の発生の遠因であり、気候大変動とでも言った方が当たっています。

同様に、英語から日本語に翻訳するときにも、言葉は大事です。その点、先哲は、民主主義、議会、音楽、哲学、歌劇など、実にすっと肚に落ちる言葉を造語しました。ただ、その中で、たとえばエデュケーションは教育と訳されました、それだと教え込むのが教育だということになります。

教育ではなく、学育とか自育とか訳していれば、教育とは自ら考える力をつけることだという認識になったのではないか、いささか悔やまれるところです。

もう一つ、リスクを辞書で引くと危険となっています。これでは、人がリスクを取りたがらないのも当然です。危険は回避すべきであるのに対し、リスクは管理すべきものです。それがごっちゃになっているのが問題です。どなたかリスクを名訳して貰いたいものです。

● 関口幹事報告

JICA2013カレンダーを当クラブで100部購入し、事務局にて1部500円で販売しております。おひとりあたり2部ほどご購入いただけすると幸いです。かなりの会員の方にはご購入していただきましたが、まだ残っておりますので、購入されていない会員の方は何卒ご協力をお願い申し上げます。

● 柏原親睦活動委員より

クリスマス夜間例会が12月17日(月)グランドハイアット(コリアンダー)にて開催されます。是非ご参加をお願いいたします。

● 角山ロータリー情報委員長より

・ロータリーの友(12月号)に、ポリオ撲滅についての対談記事が掲載されています。是非ご購読ください。

・当クラブに2名の新入会員をむかえ、来年1月末～2月初旬予定で、「Ten for Two」の開催を予定しております。参加のお声かけをいたしますので宜しくお願ひいたします。



平成24年11月19日

卓話 『オーケストラと指揮者の役割り
～高度の専門家集団とそのリーダー～』

会社役員／音楽プロデューサー

中野 雄様



中野でございます。今日はオーケストラの指揮者の話です。男のなりたい三大職業は連合艦隊の司令長官とプロ野球の監督とオーケストラの指揮者だそうです。統率するのが高度の専門家の集団で、また衆人環視の中でパフォーマンスしなければならない。しかも指揮官の一瞬の判断で人生が変わるというスリリングな状況。男子の本懐ここにありというわけです。

西洋クラシック音楽が世界の音楽のスタンダードになった理由の第一は記譜法です。音符を5線譜に書くことで音の高さと長さを表現し、音楽を客観的に捉えられるようにした。また音階がしっかりとついていて、しかも短調と長調があり、和音によって暗い音、明るい音などが出せる。ただカラヤンの有名な言葉があります。人類が発明した情報伝達手段の中で最も不完全なものは楽譜であるというので、これはちょっと驚きです。楽譜で音の長さと高さを表現しても、どれだけの音量、音色なのかは分からない。実際にクラシック音楽を芸術として鑑賞しようとすると、どうしていいかわからないというのが実態なわけですね。オーケストラの場合は100人の演奏家が全部専門家で、それぞれ意思を持っているわけですから、どうしても全体を統一するリーダーが必要。それが指揮者なのですが、そうなると歌い回しとか音色の変化、全体のバランスは、指揮者が全部頭の中にイメージしなきゃいけない。同時にそれを身振り手振りで発信するのは、考えてみると大変なことです。

そこで指揮者が楽団を統率していくためには

何が必要かということですが、素質としては4つあります。一つは集団統率力。その人が前に立つだけでみんながなんとなく言うことを聞かなかきやしうがないような気になってしまふ。これは生来の素質であって中々

訓練で身に付くものではありません。二つ目には猛烈な学習能力。これはレッスンで学び取るというより、誰かと巡り合ったとき、その人からどれだけのものを吸収できるかということ。三つ目は経営能力です。オーケストラを統率するには楽員を食べさせなくちゃいけません。ですからカラヤンはレコード業界とビデオ業界に宣伝して彼の演奏を売り込み、構成員の生活を向上させた。もう一つ大事なことは、オーケストラというのは全部赤字で入場料収入では半分ぐらいしか貰えません。それで財界などからお金を引っ張り出せる交渉力と人柄とステイタスが必要です。四つ目は絶対に仕事を辞めないという執念。カラヤンはベルリンフィルへの就任を要請されたとき、終身指揮者の条件を要求しました。実はそこに大きな落とし穴があって、トップに立った瞬間に周りが見えなくなり、最後には辞めざるを得なくなつた。本当に怖いのはトップに立ったときです。ある脳科学者によると、幸福のときには危険に対する脳の信号が鈍くなるんだそうです。こころなくちゃいけないと思います。

ご静聴ありがとうございました。





2012年11月16日 国際ロータリー第2750地区 山の手東グループ合同例会

2012年11月16日(金)、この日は奇しくも衆議院解散の日で、会場となったホテルオークラ本館の玄関前には多数の報道陣が詰め掛けるなか(太陽の党的石原氏と日本維新の会の橋本氏の会談の取材に)、山の手東グループ合同例会が開催されました。

10クラブから総勢350名余りのロータリアンが集つた「平安の間」での例会は壮観そのものでした。また、この日の卓話は、外交・安全保障のスペシャリストである手嶋龍一氏による「東アジアの安定と平和を目指して～台頭する中国と日



米同盟～」であり、とてもタイムリーなテーマとなりました。オバマ大統領の抱える重圧、アメリカ大統領選挙の仕組み、アジア太平洋の経済連携の枠組み、TPP対ASEAN+6の構図、外交における周到な情報収集の重要性、Intelligence Styleとの関係でのIntelligenceとInformationの相違、尖閣、竹島、北方領土の国境問題等々の多彩なテーマをわかりやすく流麗にお話されて、80分間の卓話時間が瞬く間に過ぎ去りました。

最後に、このような有意義な合同例会の開催に尽力されました東京西ロータリー・クラブの皆様に深謝申し上げまして、合同例会の報告の締め括りとさせていただきます。

(記:幹事 関口 明博)

2012年11月19日 「心の花も咲かせましょう」～花の植え替え～

六本木RC創立5周年を機に始めた笄小学校との共同プロジェクト「心の花も咲かせましょう」を、本年も引き続き、11月19日(月)に行いました。

午前中は雨模様の天気でしたが、六本木ヒルズ脇の花壇のお花の植え替えをスタートする午後3時には、少し肌寒くはありましたが、すっかり晴天に恵まれました。

いざスタートすると、昨年発足した笄小学校ボランティア委員会の5、6年生の生徒13名と引率の先生方の一致団結したチームプレーにより、あっという間に約250本の色とりどりのお花の植え替えを終えることができました。

参加した生徒は大変楽しんでいたように思われ、



関校長先生からは、お礼とともに、来年以降も継続して共同プロジェクトを行いたいとのお話を頂戴しました。

毎年お花の手配や花壇の整備等ご支援いただいている山中会員とハリウッドの社員の皆様をはじめ、ご参加くださった安井会員、三田会員、片岡会員に厚く御礼申し上げます。

(記:新世代委員長 山本 章博)





例会日》月曜日 12:30 – 13:30 例会場》グランドハイアット東京 (TEL: 03-4333-1234)

**ニコニコBOX情報**

鈴木 尚子さん(郡山アーバンRC)

郡山アーバンRCの名譽会員でもあるコシノヒロコ会員の卓話を楽しみにメーキャップさせていただきました。2度目のメーキャップ、皆様にお目にかかれます事にも感謝の日です。

山口 富久さん

コシノヒロコ様、今日はよろしくお願ひします。

芹澤 ゆうさん

先週の連休中、母方の祖母の101歳の誕生日を家族全員で祝うことが出来ました。お肉も野菜もケーキも皆と一緒にパクパクと頂き、毎日、はいくを読んでいます。

小笠 裕子さん

コシノ様、本日の卓話、楽しみにいたしております。よろしくお願ひいたします。

柏原 玲子さん

コシノヒロコ様、本日の卓話楽しみにしております。

渡辺 美智子さん

コシノヒロコ様、今日は卓話楽しみにしております。ご多用のなかありがとうございます。

深田 宏さん

今日の日経に大きな広告があり、立派なモデルさんが居ました。どこかで会った人だと思ってよく見ると、建築家鈴木エドワード氏でした。

山中 祥弘さん

尊敬する、コシノ様の卓話を楽しみにしていました。

宇佐見 千嘉さん

今年も余すところあと1ヶ月となりました。コシノヒロコ様、本日の卓話楽しみにさせていただきます。

安間 百合子さん

コシノヒロコさま、本日の卓話楽しみにうかがわせていただきます。

片岡 雅敷さん

新世代委員会の花壇づくりでは山中さん、ハリウッドの方々に大変お世話になり誠にありがとうございました。

苅田 吉夫さん

コシノヒロコ様の卓話をとても楽しみにしています。

杉本 潤さん

コシノヒロコ様、本日の卓話有難うございます。

松島 正之さん

コシノヒロコ様、本日のスピーチを楽しみにしています。

今村 道子さん

週末は還暦同窓会に参加しました。まだまだこれからです。コシノヒロコ様、本日の卓話、大変楽しみにしております。

森 佳子さん

コシノヒロコ様、今日の卓話楽しみにしております。

安井 悅子さん

コシノヒロコ様、HIROKO KOSHINOブランドのファンです。今日の洋服も私のお気に入りのひとつです!

山本 良樹さん

東松島市で蠣の出荷が少しですが実現しました。

**11月26日 合 計 67,000円
累 計 863,000円**

『今週の言葉』

ちようげつこううん

釣月耕雲

道元禅師

一昔前、電気、水、電話やテレビもない山奥の聖護寺(国際禅道場、菊池市)で、坐禅を組んだことがある。仙人のように、月を釣って、雲を耕すような心境を謳った禅語を知った。修行によって世俗を超越すれば、世界は自由自在、月も雲も掌中に收められる。「渋柿や渋そのものの甘味かな」、悟りの境地だ。

(松島正之会長)

11月26日の例会出席率(暫定)

・会員の例会出席数(出席率) 39名 (83%)

・ゲスト・ビジターの参加者数 8名

※ メーキャップを含めていない暫定の人数です。



この印刷に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます
www.mori-cho.org

東京六本木ロータリー・クラブ

会長 松島 正之

幹事 関口 明博

広報・週報 委員長 安井 悅子

広報・週報 副委員長 渡辺 美智子

事務局》〒106-0032 東京都港区六本木6-10-3 グランドハイアット東京内 TEL:03-4333-8773 URL:<http://www.tokyoroppongi-rc.jp/>